

鎌倉淡青会公開セミナー2019

～参加者募集～

鎌倉淡青会（東大出身者の鎌倉を中心とした地域同窓会）は、7年目の公開セミナーを開催致します。会員の講演を通して、皆様と一緒に学び楽しむことが目的です。どなた様もご参加いただけます。

会場は鎌倉商工会議所になりましたのでお間違えのないようご注意ください。

講演日	講演テーマ	講師
講演 1 7/30（火）	「湘南地方を襲う地震と津波」 1923年に発生した関東地震が湘南地方にもたらした被害について学び、近い将来発生が懸念される首都直下地震や南海トラフ地震の湘南地方への影響を概観します。	かとう てるゆき 加藤 照之 (神奈川県温泉地学 研究所所長)
講演 2 8/27（火）	「欧州復興開発銀行（EBRD）の現場を体験して」 冷戦終了後に旧ソ連地域の復興と市場経済への移行を支援することを目的として設立されたEBRDで四半世紀近く勤務しました。旧ソ連、旧ユーゴ時代には世界地図から消えていた中央アジア、バルカン諸国での事務所長体験を振り返ります。	なかざわ けんじ 中沢 賢治 (元欧州復興 開発銀行)
講演 3 9/23（月）	「虫から教わること」 虫からなにを学ぶのか。虫から学ぶのは、虫のことだ。そうお考えかもしれませんが。でも虫を見ているのはヒトです。学問には対象と本人と、その二つがあること、それをお話したいと思っています。	ようろう たけし 養老 孟司 (東京大学名誉教授)
講演 4 10/29（火）	「安心の老後設計/任意後見制度」 「任意後見制度」は、老後の判断力低下の「もしかの日」に備えて予め後見人候補（受任者）を立てて正式の契約をしておく仕組みです。財産管理と身上監護の両面で支援を受ける制度をよく知って、賢い「老い支度」を考えませんか？	いしが ただかつ 石賀 忠勝 (元日立製作所)
講演 5 11/26（火）	「近代における西欧の優越という現象はどうして生じたか？」 西欧は斜陽化したと言われるが、西欧発の制度、仕組み、価値観が未だに世界の標準とされていることは、近代の西欧が世界的に優越していたことを示しています。近世初期まで遅れていた西欧はどのようにして優越的地位を占めるようになったのかを解明します。	わだ こうぞう 和田 孝三 (元東芝・欧州総代表)

1. 開催場所 鎌倉商工会議所地下ホール 全椅子席（鎌倉駅西口徒歩5分）
2. 開催時間 午前10時～12時 9時半受付開始
3. 参加費用 200円（講演毎に受付でお支払いください。）
4. 申込方法 各月1日よりメールまたはFAXにて当月講演の受付を開始します。氏名（フリガナ）・住所・年齢・連絡先電話番号を記入の上、下記あてお申し込みください。講演の一括受付はいたしません。各月申込先着順に100名様までご参加いただけます。
Eメール tanseikaisemi@gmail.com
FAX 0467-43-0436（横山宛）
連絡先 0467-24-6123 飯沼 または 0467-43-0436 横山

主催：東京大学鎌倉淡青会

後援：鎌倉市